

ゴール つなぎの言葉に気をつけて正しく文をつなごう。

○ 別のことを書いている二つの文の間につなぎの言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例のように、「上の文」と「下の文」のあいだに、上下の文をくっつけるつなぎの言葉を、うまく意味がつながるように書きましょう。

(例) 試合に勝って、うれしかった。(だけど)、二回戦で負けて残念だった。
 先生はとても優しい。(しかし)、いじわるをすると、厳しく指導する。
 わたしは、早起きが苦手です。(だから)、朝食を食べないことがあります。

- ① 今日、私は、朝から熱がありました。()、私は学校を休みました。
- ② 昨日、宿題がたくさんありました。()、やり終えるのに、二時間かかりました。
- ③ 明日は、遠足で京都に行く予定です。()、天気予報は雨なので心配です。
- ④ 明後日は、テストがあります。()、全然勉強していません。
- ⑤ ぼくは、牛乳が大好きです。()、給食が待ち遠しいです。
- ⑥ わたしは、図書館に行きました。()、しずかに本を読みました。
- ⑦ 試合に負けて悔しかった。()、次の日から、一生懸命練習した。
- ⑧ 先生はとても厳しい。()、よくがんばった時は、本気でほめてくれる。

接続語(文と文をつなぐ言葉)

- ・「しかし」「けれども」「でも」は前の文とちがうことや反対のことをつなぐときに使う。
- ・「そして」「それで」「だから」は、前の文の続きや結果などをつなぐときに使う。

ふりかえり

・文と文をつなぐことができた。()

・文と文をつなぐ言葉の使い方がわかった。()

ゴール つなぎの言葉に気をつけて正しく文をつなごう。

○ 別のことを書いている二つの文の間につなぎの言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例のように、「上の文」と「下の文」のあいだに、上下の文をくっつけるつなぎの言葉を、うまく意味がつながるように書きましょう。

(例) 試合に勝って、うれしかった。(だけど)、二回戦で負けて残念だった。
先生はとても優しい。(しかし)、いじわるをすると、厳しく指導する。
わたしは、早起きが苦手です。(だから)、朝食を食べないことがあります。

- ① 今日、私は、朝から熱がありました。(それで)、私は学校を休みました。
- ② 昨日、宿題がたくさんありました。(だから)、やり終えるのに、二時間かかりました。
- ③ 明日は、遠足で京都に行く予定です。(しかし)、天気予報は雨なので心配です。
- ④ 明後日は、テストがあります。(でも)、全然勉強していません。
- ⑤ ぼくは、牛乳が大好きです。(だから)、給食が待ち遠しいです。
- ⑥ わたしは、図書館に行きました。(そして)、しずかに本を読みました。
- ⑦ 試合に負けて悔しかった。(だから)、次の日から、一生懸命練習した。
- ⑧ 先生はとても厳しい。(けれども)、よくがんばった時は、本気でほめてくれる。

接続語(文と文をつなぐ言葉)

- ・「しかし」「けれども」「でも」は前の文とちがうことや反対のことをつなぐときに使う。
- ・「そして」「それで」「だから」は、前の文の続きや結果などをつなぐときに使う。

ふりかえり

- ・ 文と文をつなぐことができた。 ()
- ・ 文と文をつなぐ言葉の使い方がわかった。 ()